

DELLTechnologies

デル・テクノロジーズ 事例カタログ



目次



ヘルスケア

国立研究開発法人 国立循環器病研究センター	4
徳洲会インフォメーションシステム株式会社	5
日本海総合病院	6



教育

麻生建築&デザイン専門学校	8
株式会社ECC	9
京都大学基礎物理学研究所	10
学校法人 聖母女学院	11
学校法人 中央大学	12
ベルリッツ・ジャパン株式会社	13



国 / 地方自治体 / 公共 関連

岡山県真庭市	15
KCCSEモバイルエンジニアリング株式会社	16



メディア&エンターテインメント

有限会社神風動画	18
株式会社サイバーエージェント	19
株式会社サンジゲン	20
ZUKAN MUSEUM GINZA	21
東映アニメーション株式会社	22
株式会社日経統合システム	23
株式会社ボンズ	24



金融 / 保険

巢鴨信用金庫	26
--------	----



製造業

川崎重工業株式会社	28
コベルコ建機株式会社	29
三洋化成工業株式会社	30
住商モンブラン株式会社	31
株式会社タツノ	32
株式会社チノー	33
ツネイシホールディングス株式会社	34
帝国繊維株式会社	35



通信 / 情報 / サービス / コンサル

アライドテレシス株式会社	37
株式会社NTTドコモ	38
株式会社オロ	39
株式会社日本海洋科学	40
三菱電機エンジニアリング株式会社	41
株式会社マトリクス	42
株式会社ミライト情報システム	43



運輸 / 物流

株式会社フリゴ	45
---------	----



食品 / 飲料

あづま食品株式会社	47
-----------	----



ヘルスケア

国立研究開発法人 国立循環器病研究センター

徳洲会インフォメーションシステム株式会社

日本海総合病院

大規模病院情報システムのVDI端末として「Dell Wyse」をフル活用

心臓病と脳卒中を対象とした最先端医療・研究施設として世界有数の規模を誇る国立循環器病研究センターは、2019年7月の移転に伴い病院情報システム (HIS) や事務システムのクライアント環境をVDIによって仮想化し、情報システム端末としてデル・テクノロジーのシンクライアント端末を約2,000台導入・活用している。また、センターのバイオバンクと創薬オミックス解析センター (ORC) も共有ストレージとしてデル・テクノロジーの製品「Dell EMC Isilon」を採用し、全ゲノム解析によるデータの爆発的な増大に対応している。

課題

国立循環器病研究センターは従来、PC (ファットクライアント) とサーバーから成る基盤上でHISや事務システムなどの情報システムを運用していた。ただし、システム調達が部門ごとに行われてきたこともあり、IT資産管理やセキュリティ統制を含む運用管理の効率性に課題を抱えていた。そこで2019年7月のセンター移転を機にVDIによって仮想デスクトップの環境を構築し、端末の運用管理性を大幅に高めるとの方針を掲げた。一方、バイオバンクとORCでは、研究/解析用データの増大と一元管理、アクセスコントロールの効率化などを実現する共有ストレージの調達を目指していた。

ソリューション


**シンクライアント端末により端末の交換・設置がスピードアップ。
全ゲノム解析の始動によるデータの激増にDell EMC Isilonストレージで対応。**

- ハードウェア:
VDIシステム/ Dell Wyse 5070 シンクライアント、Dell Latitude 3480 (シンクライアントとして使用)
バイオバンク/Dell EMC Isilon ストレージ、Dell EMC PowerEdge R740 サーバー

導入効果

- Dell Wyseシンクライアントの活用により、端末の交換や新規設置時にソフトウェアのセットアップが不要になり、機器故障への対応や臨時的な端末設置が迅速化。
- クライアント端末からソフトウェアとデータを切り離したことで、センター内での人の異動への対応が柔軟・スピーディに。
- ノート型のインクライアント (Windows 10 IoT 搭載 Dell Latitude) の採用で、センター職員のテレワークを可能に。
- VDIとシンクライアント端末の導入により、端末資産管理の手間が大きく低減。
- Dell EMC Isilonストレージの採用で、バイオバンクのデータの集約・一元管理とアクセスコントロールが効率化
- Dell EMC IsilonストレージとDell EMC PowerEdge R740サーバーの導入で、全ゲノム解析にも対応するストレージのスケールビリティと解析性能を担保。



 国立研究開発法人
国立循環器病研究センター

国立研究開発法人 国立循環器病研究センター

業種 : 医療・研究機関

住所 : 大阪府吹田市岸部新町6番1号

<http://www.ncvc.go.jp/>

事例記事 URL :

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/ncvc.htm>



Dell EMC VxRailを新たに導入し、プライベート・クラウド基盤を構築。 病院内部門システムの統合を推進

「生命だけは平等だ」の哲学の下、全国に約340の医療施設を展開する徳洲会グループ。その情報インフラを一手に担っているのが、グループのIT企業である徳洲会インフォメーションシステムだ。今回同社では、バックエンド業務を支える各種部門システムの統合に着手。新たに構築したプライベート・クラウド基盤への移行を図ることで、コスト削減や運用効率化を進めていく。

課題

病院をはじめとする医療関連施設においては、基幹業務システムである電子カルテ以外にも、様々な部門システムが導入されている。徳洲会インフォメーションシステムでも、徳洲会グループの施設で利用される約30の業務システムを開発・管理している。しかし、その中には各病院の個別基盤の上で稼働しているシステムも多く、コストや運用管理などの面で課題を抱えていた。

ソリューション

部門システムを集約する新たなプライベート・クラウド基盤を構築。

- ハードウェア: Dell EMC VxRail E560F
- サポート: Dell ProDeploy Plus
Dell ProSupport Plus

導入効果

- システムコストを約20～30%削減
- 新規システムの構築期間を1ヶ月以上短縮
- 新たなユーザーニーズへの即応が可能に
- 高い性能・信頼性を兼ね備えたインフラを確立



徳洲会インフォメーションシステム株式会社 代表取締役社長 尾崎 勝彦 氏



徳洲会インフォメーションシステム株式会社

業種：医療

住所：大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階
<https://www.tokushukai-is.com/>

事例記事 URL：

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/tokushukai-is.htm#collapse>

病院職員1,000人の生産性向上に資する端末として デル・テクノロジーズのPCを選択

日本海総合病院は山形県庄内地域における中核の医療機関であり、地域の三次救急・専門医療を担う急性期病院だ。ITによる医療サービスの変革にも先駆的に取り組む同院では、長きにわたりデル・テクノロジーズのPCを病院情報システムの端末として使い続けている。2019年におけるシステム基盤の刷新に際しても1,100台の端末全台をデル・テクノロジーズのPCで更新し、端末の処理性能を大幅に高めている。

課題

日本海総合病院では、病院情報システムと基盤の全面刷新するに当たり、病院端末として使うPC全台を処理性能・信頼性・モビリティ・コストパフォーマンスのすべてに優れた新機種へとリプレースする必要があった。

ソリューション

すでにデル・テクノロジーズのPCを病院情報システム端末としてご利用いただいていたが、最新機種の導入で処理速度の向上とバッテリー持続時間のさらなる延長などで業務効率アップを目指す。

- ハードウェア: Dell OptiPlex 3060 SFF
Dell Latitude 3590
- サポート: Dell ProSupport Plus

導入効果

- 端末や電子カルテアプリケーションの起動と動作スピードが大幅にアップし、医療業務の効率化・生産性向上に貢献
- デル・テクノロジーズの高品質なサポートにより、医療現場の端末の可用性を高いレベルで維持
- 看護師などが携帯する端末（ノートPC）の長時間バッテリー駆動が実現され、業務効率がアップ
- 医療の高度化や新たな医療サービスを支える土台づくりが前進



地方独立行政法人
山形県・酒田市病院機構

日本海総合病院

業種：医療機関

住所：山形県酒田市あきほ町30番地

<http://www.nihonkai-hos.jp/hospital/>

事例記事 URL：

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/nihonkai-hos.htm>



教育

麻生建築&デザイン専門学校

株式会社ECC

京都大学基礎物理学研究所

学校法人 聖母女学院

学校法人 中央大学

ベルリッツ・ジャパン株式会社



3D CADから解析・VRまでを一気通貫で支える 端末環境を構築学生の世界コンペ受賞に貢献

建築分野とデザイン分野を融合した専門教育を展開している麻生建築&デザイン専門学校では、教育に用いる3D CADソフトを稼働させる端末としてデル・テクノロジーズ（以下、デル）のDell Precision ワークステーションシリーズを採用。3D CADによるモデリングのほか、解析、VRなど多彩な用途で学生の作品作りをサポートし、ダッソー・システムズの主催するコンペティション「プロジェクト・オブ・ザ・イヤー2021」にて世界第1位と第3位受賞にも貢献した。

課題

2年間の限られた教育の中で最大限の学習環境を提供するにあたり、学生が毎日自宅に持ち帰りいつでも作業が可能なモバイルワークステーションを探していた。また、3D CADによるモデリングだけでなく、自分がデザインした作品をVRや解析・シミュレーションにかけることで、デザインの意味を多角的に検討できる環境を整えようとしていた。従来のワークステーションでは、性能面や機能面、使い勝手などの面から、これらの要件を満たすことができなかった。

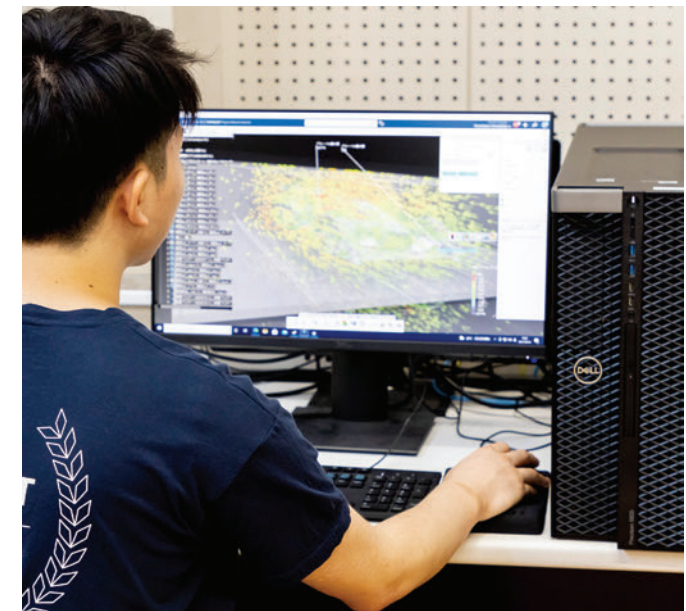
ソリューション

次世代教育プログラムをデル・テクノロジーズの機材を活用して提供

- Dell Precision 5820
- Dell Precision 7550
- Dell Precision 5540

導入効果

- モバイルワークステーションを1人1台所有し、毎日持ち帰れることで、「3DEXPERIENCEプラットフォーム」をいつでも利用できるように
- タワー型ワークステーションをVRや解析・シミュレーションに活用して、モデリングだけにとどまらない学びを提供できるように
- 学生が持ち帰るモバイルワークステーションのほか、学校が所有するワークステーションをリモート活用することでコロナ禍でも柔軟な教育を継続
- 充実した端末環境をフル活用し、ダッソー・システムズ主催国際コンペにおける1位、3位受賞にも貢献



麻生専門学校グループ

Design your future 想像してごらん 自分の未来を

 **麻生建築&デザイン専門学校**
ASO ARCHITECTURE AND DESIGN COLLEGE

麻生建築&デザイン専門学校

業種：学校

住所：福岡県福岡市博多区博多駅南1-11-13

<https://asojuku.ac.jp/aadc/>

事例記事 URL：

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/asojuku-aadc.htm#collapse>

PowerEdgeサーバーとLatitude PCで在宅勤務も可能なシンクライアント環境を提供

株式会社ECCは、PowerEdgeサーバーとPowerVaultストレージを採用してVMware vSphereによる仮想環境を構築し、ノートPCのLatitude PCを活用したシンクライアントソリューションを導入

課題

サーバーの老朽化による運用負荷の増加や、シンクライアント端末の調達に悩まされていた株式会社ECCでは、システム更改に伴い、迅速なサポートが可能なハードウェアメーカーを探していた。また、新型コロナウイルス対策に対応することも急務となっており、リモートワークを実現できるインフラを構築する必要にも迫られていた。

ソリューション

リモートデスクトップサービス (RDS) 基盤

- Dell EMC PowerEdge R740
- Dell EMC PowerEdge R640
- Dell EMC PowerVault ME4024
- Dell Latitude 3510
- ProSupport Plus

導入効果

- コロナ対応も含めた運用負荷を大幅に削減
- 仮想OSやハードウェアをワンストップで迅速にサポート
- 複数台のデバイスを使わなくても1台のノートPCで、リモートデスクトップやWeb会議、動画確認を実現
- パフォーマンス向上により、起動やディスクコピー、アプリケーション操作を高速化



ECC

株式会社ECC

業種 : 教育機関

住所 : 大阪市北区東天満1-10-20

<https://www.ecc.co.jp/>

事例記事 URL :

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/ecc.htm>



理論物理学の根底を支える新スーパーコンピューターシステムYukawa-21をPowerEdgeで構築。すべてのスケールの物理現象の研究にフル活用

湯川秀樹博士が日本人として初めてノーベル賞を受賞したことを記念して設立され、日本の理論物理学教育や研究の中心的存在となっている京都大学基礎物理学研究所が、理論物理学の根底を支える新スーパーコンピューターシステムYukawa-21をPowerEdgeで構築。すべてのスケールの物理現象の研究にフル活用している。

課題

5年ごとにスーパーコンピューターシステムを更改している京都大学基礎物理学研究所では、新たなスーパーコンピューターシステムYukawa-21を構築するにあたって、3倍以上の性能を持ち、安定した運用ができるシステムを求めている

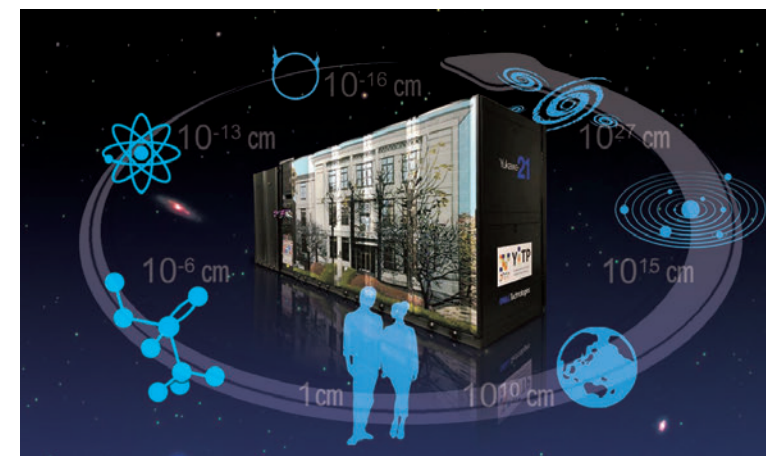
ソリューション

理論物理学の根底を支える新スーパーコンピューターの導入により、前世代より3.8倍の性能向上を実現

- Dell EMC PowerEdge R840
- Dell EMC PowerEdge R940xa
- Dell EMC PowerSwitch Z9332F

導入効果

- 4ソケットのCPUと3.8倍の性能向上によって、大きな計算でも1ノードで効率的に計算できる
- RoCE (ロッキー: Remote Direct Memory Access protocol over Converged Ethernet) を利用したネットワークによって、多くのノード数での計算もスムーズに行える
- サポートによってユーザーからの質問やトラブルに迅速に対応でき、安定した運用ができ、本来の研究に集中できる
- 高い計算能力を持つスーパーコンピューターシステムによって、多くの論文を発表できる



京都大学基礎物理学研究所

業種: 教育機関

住所: 京都市左京区北白川追分町

<https://www.yukawa.kyoto-u.ac.jp/>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/yitp-kyoto-u.htm#collapse>



500台のDell ChromebookでICT活用が藤森キャンパスに浸透 着実に進む時代を先駆ける教育革新

学校法人 聖母女学院の併設校、京都聖母学院小学校と同中学校・高等学校（藤森キャンパス）では、ICTを活用した新たな教育モデルの確立に取り組み、その一環として2016年11月に500台のDell Chromebook™を導入した。それから3年強の歳月が経過し、授業でのICT活用が全教科にわたり定着。教員各人が授業にICTを巧みに取り入れ、それぞれのアイデアを生かしたアクティブ・ラーニングを実践している。

課題

主体的・協働的な学び（アクティブ・ラーニング）を実現する上で、ICTの活用は不可欠とされる一方、授業で利用する情報端末の維持管理のために教員に大きな負担がかかるのでは日常的に利用することができない。また、児童が情報端末をうっかり落とし破損させてしまう事故が日常的に起こりうる。教育を円滑に行うため、セキュリティ面での安全性や、稼働の安定性、そして堅牢性に優れた情報端末が必要とされた。

ソリューション

**堅牢性と信頼性、安定稼働やセキュリティの課題まで解決するDell Chromebookで
進化する学びの場を支える。**

- Dell Chromebook™
- G Suite for Education Google
- Dell EMC Ruckus™
- Intel Unite®
- ICT 支援員 (NTT 西日本)

導入効果

- 堅牢性・信頼性に優れたDell Chromebook™の採用で故障・破損の発生率ほぼゼロを確保。
- Chromebook™の採用によって、情報端末の安定稼働やセキュリティを維持するためのコストを劇的に低減。
- 教員にかかる情報端末の維持管理負担を一掃し、教育そのものに専念できる環境を実現。
- G Suite for Educationの採用で教員それぞれのアイデアとノウハウを活かした教育ICTの授業作りが大きく進展。
- Intel Unite® 導入でアクティブ・ラーニングの環境がさらに強化
- ICT支援員 (NTT 西日本) による授業サポートで、ノウハウの蓄積と、それに基づく教育モデルの確立・共有が効率化。
- Dell EMC Ruckus導入で無線 LAN の通信性能が高いレベルで安定し、大規模授業の展開がスムーズに。



学校法人 聖母女学院
Seibo Jogakuin

学校法人 聖母女学院

業種：学校

住所：京都市伏見区深草田谷町1番地

<http://www.seibo.ed.jp/>

事例記事 URL：

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/collaterals/unauth/customer-profiles-case-studies/solutions/dell-jirei-seibo.pdf>

大学情報基盤のバックアップシステムを Dell EMC AVAMAR + Dell EMC DATA DOMAINで 統合リソース有効活用と運用負荷軽減に成功

1885年(明治18年)に英吉利(イギリス)法律学校として創設されて以来、次世代を担う人材の育成に取り組んできた中央大学。同大学では、建学の精神である「實地應用ノ素ヲ養フ」の下、百三十年余りに及ぶ実学教育の伝統を今に受け継いでいる。また、グローバル化時代を見据えた取り組みとして、2019年4月に国際情報学部と国際経営学部の2学部を新たに設置。さらに、外国人留学生や研究者の受け入れを図るための新施設「グローバル館・国際教育寮」を2020年4月にオープンするなど、グローバル・ユニバーシティとしての飛躍を遂げようとしている。

課題

学内で稼働する各種業務サーバーのバックアップが個別に行われており、作業に使用するツールや運用手順なども統一されていなかった。

ソリューション

大規模バックアップに耐えられるだけの能力を有し、運用管理が容易。

- Dell EMC Avamar Virtual Edition
- Dell EMC Data Domain Virtual Edition

導入効果

Dell EMC Avamar+Dell EMC Data Domainでバックアップ統合を実現。
圧縮・重複排除機能により、バックアップデータの総容量を約50%削減することにも成功。



株式会社SRA
ネットワークシステムサービス
第1事業部 ITインフラ第1部 主任
永田 肇氏

中央大学
情報環境整備センター 事務部
多摩ITセンター 事務課 副課長
山中 宏和氏

行動する知性。



学校法人 中央大学

業種: 文教

住所: 東京都八王子市東中野 742-1

<https://www.chuo-u.ac.jp/>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/chuo-u.htm>

デル・テクノロジーズのプロビジョニングサービスで PC初期展開の工数を劇的削減

全国規模で英会話・語学学校を展開するベルリッツ・ジャパンでは「Windows Autopilot (オートパイロット)」を使用したデル・テクノロジーズのプロビジョニングサービス「Dell ProDeploy Client Suite」の採用により、PC初期展開の工数を劇的に減らしている。

課題

社内のPCをデル・テクノロジーズの製品で統一しているベルリッツ・ジャパンでは、オンラインレッスンの本格始動に向けて1,000台近い教師用端末全台をタブレットPC「Dell Latitude 3190 2-in-1」へと一挙にリプレースする決定を下し、PCのキittingなど、PCの初期展開に要する手間と時間を大幅に引き下げる必要に迫られた。

ソリューション

社用PCのすべてをデルの製品で統一し「ProDeploy Client Suite」の導入へ

- ハードウェア: Dell Latitude 3190 2-in-1
- サポート: Dell ProDeploy Client Suite
Dell ProSupport

導入効果

- Dell ProDeploy Client Suite の導入によってPCのキittingが自動化され、PCの初期展開に要する時間を1台当たり平均100分削減
- 従来、PCの発注・キittingを外部のIT企業に委託していたが、Dell ProDeploy Client Suiteの導入でそれが不要になり、PC発注から納入までの期間が約1週間短縮
- およそ800台の教師用端末の「Dell Latitude 3190 2-in- 1」へのリプレースをDell ProDeploy Client Suiteでスムーズに展開。オンラインレッスン用のIT環境整備を計画どおりに実現
- Dell ProDeploy Client Suiteの導入により、多様な機種で構成される社用PCの導入・刷新の効率性を将来にわたって確保



Berlitz®

ベルリッツ・ジャパン株式会社

業種: 専門サービス

住所: 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館16階

<https://www.berlitz.com/ja-jp>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/berlitz.htm#collapse>



国 / 地方自治体 / 公共 関連

岡山県真庭市

KCCSモバイルエンジニアリング株式会社



庁内情報系システムの全面仮想化を実施、統合バックアップシステムも新たに構築し高信頼でセキュアなインフラ環境を実現

岡山県北部エリア、中国山地のほぼ中央部に、県下最大の総面積を誇る自治体がある。2007年に誕生した真庭市である。西日本最大級の木材集積地である同市では、豊かな森林資源を積極的に活用。バイオマス発電や木質構造材「CLT（Cross Laminated Timber：直交集成板）」などの産業を促進すると同時に、地域の歴史・文化や人材も活かした「里山資本主義」の実現を目指している。また、市北部の蒜山高原では酪農も盛んに行われており、観光目的でこの地を訪れる人も数多い。加えて、近年では、「SDGs 未来社市真庭」のスローガンの下、持続可能な地域社会を目指す取り組みも推進している。

課題

- 庁内の情報系システムが個別の物理サーバーで構築されており運用が煩雑
- ランサムウェアなどの脅威にもしっかりと対処できるようにしたい
- ストレージリソース有効活用やITコスト削減を図りたい

ソリューション

個別に構築されていた情報系システムを仮想統合したことで、庁内インフラの全体最適化を図る。

- Dell EMC UNITY 650F
- Data Protection Suite for Vmware
- Data Domain DD6300
- Avamar M1200 / NDMP アクセラレータ
- Dell EMC PowerEdge R640
- Dell EMC PowerSwitch S4148T/S3124T
- Dell EMC Connectrix DS 6520

導入効果

- 大量のシステム／クライアントを効果的に収容できる高信頼仮想化基盤を実現
- 情報系システムに蓄積された重要業務データを確実に保護することが可能に
- 約220倍もの圧縮・重複排除率を達成省スペース／省電力化にも貢献



岡山県真庭市 総合政策部 秘書広報課 主幹
福本 貴信 氏



岡山県真庭市

業種：地方公共団体

住所：岡山県真庭市久世 2927-2

<https://www.city.maniwa.lg.jp/>

事例記事 URL：

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/maniwa.htm#collapse>



自治体向け防災クラウド「しらせあい[※]」のサービス基盤に Dell EMC VxRail を採用、安心・安全なまちづくりへの貢献を目指す

京セラグループの一員として、モバイルとICTを融合させた多彩なソリューションを展開するKCCSモバイルエンジニアリング。今後のビジネスの重点テーマに据えている、『格差なく住み続けられるまちづくりへの貢献』を企業ビジョンとして掲げる。その代表的なソリューションである自治体向け防災クラウド『しらせあい』の実現に、Dell EMC VxRailを採用し大きな役割を果たしている。

課題

自治体向け防災クラウド「しらせあい」の提供にあたり、急激なユーザー増加にも対応できる柔軟な拡張性と高い性能・信頼性を備えたインフラが求められた。

ソリューション

地域の防災やコミュニケーションを支えるサービスを支える、高い性能、信頼性・可用性、柔軟な拡張性。

- Dell EMC VxRail S570

導入効果

Dell EMC VxRail を導入し、数千世帯への同時情報配信にも余裕で対応できる環境を実現。ノード増設を行うことで、今後のサービス成長にも迅速に対応。

※商標登録出願中



京セラグループ
KCCSモバイルエンジニアリング株式会社

KCCSモバイルエンジニアリング株式会社

業種：情報サービス業

住所：東京都港区三田 3-13-16

<https://www.kcme.jp/>

事例記事 URL：

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/kcme.htm>



メディア & エンターテインメント

有限会社神風動画

株式会社サイバーエージェント

株式会社サンジゲン

ZUKAN MUSEUM GINZA

東映アニメーション株式会社

株式会社日経統合システム

株式会社ボンズ

“デル”以外の選択肢はありえない。3DCGを駆使した映像表現の革新に「Dell Precision ワークステーション」をフル活用

革新的な映像表現を追求し、数々の話題作を世に送り出しているアニメーションスタジオ神風動画。同社では2003年の設立以来、映像制作にデル製ワークステーションを使い続けている。2019年におけるワークステーション更改に際しても、「タワー型ワークステーション Dell Precision 3000/5000シリーズ」を選択し、約50台を導入した。デル製ワークステーションの性能とサポート品質に対する信頼は揺るぎないものであるという。

課題

神風動画では、2003年からデル製ワークステーションを導入し、およそ3年に一度のペースで新機種にリプレース（更改）してきた。2019年の更改ではWindows 7からWindows 10への移行もあり、約50台のワークステーションを新機種へと一挙に切り替える必要があった。

ソリューション

耐久性とサポート品質で2003年からデルのワークステーションを使い続ける。

- ハードウェア: Dell Precision 3630 Tower ワークステーション
Dell Precision 5820 Tower ワークステーション

導入効果

- 映像制作に使用する最新ソフトウェアのスムーズな動作を実現
- ワークステーションの性能アップでマルチタスク作業を高効率に実行
- 耐久性に優れたワークステーションを採用、故障による業務中断のリスクを低減
- 製品固有IDサービスタグを通じた迅速なセルフサポートを実現



有限会社神風動画

業種: 映像情報制作・配給

住所: 東京都渋谷区神宮前二丁目26号8番 神宮前グリーンビル5階・6階

<https://www.kamikazedouga.co.jp/>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/collaterals/unauth/customer-profiles-case-studies/solutions/dell-jirei-kamikazedouga.pdf>

Dell EMC PowerScale (Isilon) を導入し、 ビジネスのスピードを加速する3DCG制作用ストレージ基盤を実現

サイバーエージェントとグループの3DCG制作会社であるCyberHuman Productionsは、デル・テクノロジーのスケールアウトNAS「Dell EMC PowerScale (Isilon)」を採用し、3DCG動画広告やAR/VRなどの3DCGコンテンツの制作に用いられるストレージ基盤を全面刷新した。これにより、大容量3DCGデータを余裕で格納できる環境を確立。新たなビジネス/サービスの創出にも即応できる環境を実現した。

課題

メディア、インターネット広告、ゲームなど、幅広い領域でビジネスを展開するサイバーエージェントグループ。グループで3Dスキャニングから3DCG動画広告の制作・運用やAR/VR等の3DCGコンテンツの制作を担うのがCyberHuman Productionsだ。以前は汎用のIAサーバーを用いたストレージシステムを業務に利用していたが、事業規模やサービスの拡大に伴って急激に容量が逼迫。パフォーマンス面でも課題を抱えていたこともあり、より高い性能・信頼性と柔軟な拡張性を備えたストレージ製品の導入に着手した。

ソリューション

高い性能と柔軟な拡張性により、
急速に拡大するビジネスにもスピーディに対応できる環境を実現

- ハードウェア: Dell EMC Isilon H400
- サポート: ブロードバンドタワー自営保守サービス (24時365日)

導入効果

- ストレージ基盤のパフォーマンスが約30~40%改善
- アクセス集中の際にも、レスポンス低下なし
- ストレージ運用管理の効率化・省力化を実現
- 今後の新たなビジネス/サービスにもスピーディな対応が可能に



株式会社サイバーエージェント
CIU (CyberAgent Group Infrastructure Unit)
インフラエンジニア
高橋 大輔 氏

株式会社CyberHuman Productions
株式会社サイバーエージェント
開発エンジニア
山塚 博翔 氏



株式会社サイバーエージェント

業種: 映像制作

住所: 東京都渋谷区宇田川町40番1号

<https://www.cyberagent.co.jp/>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/>

[case-studies-customer-stories/cyberagent.htm#collapse](https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/cyberagent.htm#collapse)

デルの1Uラック型ワークステーションで 3DCGアニメーション制作をスタジオの制約から解放

3DCGアニメーション制作の領域で業界を代表する一社であるサンジゲン。同社では、デルの1Uラック型ワークステーション「Dell Precision 3930 ラック型」を活用し、3DCGアニメーション制作の現場に変革のうねりを巻き起こしつつある。遠く離れたスタジオに設置されたワークステーションを使い、ごく小さな端末とモニターだけで3DCGを駆使したアニメーション作りを進める。そのための環境を構築し、制作のロケーションを自由に選べる世界を実現しつつある。

課題

2006年の設立以来、事業をハイペースで拡大させてきたサンジゲンでは、制作現場のスタッフ数や拠点数が増え続け、制作現場で使うワークステーションの台数も相当数に上るようになっていた。その中で、ワークステーションの保守・運用管理の合理化と、制作現場におけるスタッフの自由な移動を実現するための有効なソリューションを長く探していた。また、3DCG表現の高度化に伴い、作品データのサイズが一挙に膨れ上がり、ストレージ容量も逼迫（ひっばく）していた。

ソリューション

リモートワークステーション環境で働くスタッフが遠隔から活用できる環境を整え、スケールアウトNASで深刻化していたストレージの容量不足の問題も解決。

- ワークステーション : Dell Precision 3930 ラック型
- ストレージ : Dell EMC Isilon H400

導入効果

- Dell Precision 3930 ラック型の導入でリモートワークステーション環境を構築。ワークステーションの保守・運用管理の一元化と遠隔地からの利用を実現
- モニターと小さなシンククライアントによる3DCGアニメーション制作を可能にし、制作現場におけるスタッフの柔軟な配置・移動を実現
- 制作現場のドラスティックな省電力化によって、制作スタジオの移転・新設時に電源増強などの特別な施策を打つ必要性を低減させ、場所選びの自由度をアップ
- 1Uラック型の省スペース設計でありながら、ハイエンドGPUカードと画像転送用カードの2枚を内蔵できるDell Precision 3930 ラック型の採用により、サーバールームでのワークステーション設置スペースも必要最低限に
- Dell EMC Isilon H400 の採用により、3DCGデータの増大に柔軟、かつ容易に対応できるスケーラブルなストレージ環境を実現
- ディスクの故障時にも、ストレージのパフォーマンスを維持し、業務への影響を低く抑えた無停止での復旧を可能に
- Dell EMC Isilon H400の重複排除により、制作中の作品データの容量を60%削減



株式会社サンジゲン

業種 : 映像情報制作・配給

住所 : 東京都杉並区上荻 1丁目 2-1

<https://www.sanzigen.co.jp/>

事例記事 URL :

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/sanzigen.htm>



新感覚のデジタル映像体験を高性能・高信頼の「Dell Precisionワークステーション」で支える

2021年7月16日に東京・東急プラザ銀座で開業し、開業から1カ月でおよそ3万人を動員した新感覚の体験型デジタルミュージアム「ZUKAN MUSEUM GINZA powered by 小学館の図鑑NEO」。同ミュージアムではデル・テクノロジーズの高性能・高信頼ワークステーション、Dell Precisionの採用によって没入感の高い高品質でインタラクティブな映像コンテンツの安定稼働を実現している。

課題

「ZUKAN MUSEUM GINZA powered by 小学館の図鑑NEO」では、高度なプロジェクションマッピングによる“体験型施設”を実現するに当たり、最大6台のプロジェクターに4K～6K映像を安定して出力できる高性能・高信頼のワークステーションを必要としていた。

ソリューション

性能と拡張性、サポート力が選定の決め手に

- ハードウェア: Dell Precision 7920 Tower ワークステーション
- サポート: Dell ProSupport

導入効果

- 高性能・高信頼の「Dell Precision 7920 Towerワークステーション」の採用で、没入感の高い4K～6K品質のインタラクティブなプロジェクションマッピングの安定稼働を実現
- ZUKAN MUSEUM GINZAの開業から“1日9時間×100日”の連続稼働でもDell Precision 7920 Tower ワークステーションの故障発生はゼロ件。システム運用管理の負荷軽減に貢献
- 検証機の貸し出しに対するデル・テクノロジーズの柔軟で迅速な対応により、実際の館内を模したモックアップ（検証設備）による6カ月間の映像表現・システムの検証を大きなトラブルもなく完遂
- Dell Precision 7920 Towerワークステーションの高い性能と信頼性によって1台のワークステーションで高度な映像コンテンツの安定運用が可能となり、システム基盤の経済性を高いレベルで確保



ZUKAN MUSEUM GINZA Powered by 小学館の図鑑NEO

業種: ミュージアム

住所: 東京都中央区銀座5-2-1 東急プラザ銀座6F

<https://zukan-museum.com/>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/zukan-museum.htm#collapse>

ストレージ基盤の性能が約7倍向上。 3Dアニメーション製作の効率化にDell EMC Isilonが貢献

1956年の会社創立以来、60年以上にわたり数々のアニメ作品を世に送り出し続けてきた東映アニメーション。これまでに製作してきた作品の本数は、実に劇場版242本、テレビ作品222本、総話数にして12,683本にも上る（2019年3月末現在。同社ではDell EMCのスケールアウトNAS「Dell EMC アイシロン」を採用し、年々加速する作品の大容量化に対応し、働き方改革のための生産性向上に努めている。

課題

1作品あたり1000万ファイルにも及ぶデータ管理を行うことから、より大容量・高性能なストレージが求められるようになった。

ソリューション

スケールアウトNAS“Isilon”の最新モデルによりパフォーマンスの大幅な改善とストレージの大容量化を実現。さらにIsilonの機能によって現場の業務を止めることなく、大量のデータを新システムへ無停止で移行。

- ストレージ: Dell EMC Isilon H500
Dell EMC Isilon A200

導入効果

ストレージ性能が従来と比べ約7倍向上。データ容量を約30%、ラックスペースも約1/3に削減するなど、リソース有効活用やIT投資対効果の最大化にも寄与。



東映アニメーション株式会社
製作本部 デジタル映像部
プロダクションマネージメント室
課長代理 兼 プロデューサー
野島 淳志 氏

東映アニメーション株式会社
製作本部 デジタル映像部
テクノロジー開発推進室 課長 兼
経営管理本部 情報システム部 課長
山下 浩輔 氏

東映アニメーション株式会社
製作本部 デジタル映像部
テクノロジー開発推進室
システムアドミニストレーター
都築 勲 氏



TOEI ANIMATION
Since 1956

東映アニメーション株式会社

業種: 映像制作

住所: 東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパークイースト5階
<http://www.toei-anim.co.jp/>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/toeiani.htm>

Dell EMC VxRail でクラウドネイティブなアプリケーション開発基盤を新たに構築。ビジネスのデジタル変革を強力に後押し

日経グループのIT企業である日経統合システムでは、今後のデジタル変革を加速するクラウドネイティブなアプリケーション開発基盤を新たに構築した。システムの中核にはハイパーコンバージド・インフラストラクチャ製品「Dell EMC VxRail」を採用し、導入期間の短縮やインフラの安定稼働、柔軟なスケーラビリティの確保など、数多くのメリットを実現している。

課題

日経統合システムでは、データセンターやWebアプリケーション、セキュリティなど、幅広い領域にわたるサービスを日経グループ内外の企業に提供している。しかし、デジタル・トランスフォーメーション（DX）に向けた動きが急速に進む中、アプリケーション開発の効率やスピードをより高いレベルに引き上げることが急務に。そこで同社では、最新のコンテナ技術やアジャイル開発の手法を全面的に取り入れたクラウドネイティブなアプリケーション開発基盤の構築に着手。Kubernetesを中心としたモダンアプリケーションのためのソリューションである「VMware Tanzu™」のメリットを最大限に引き出せるプラットフォーム製品の導入に取り掛かった。

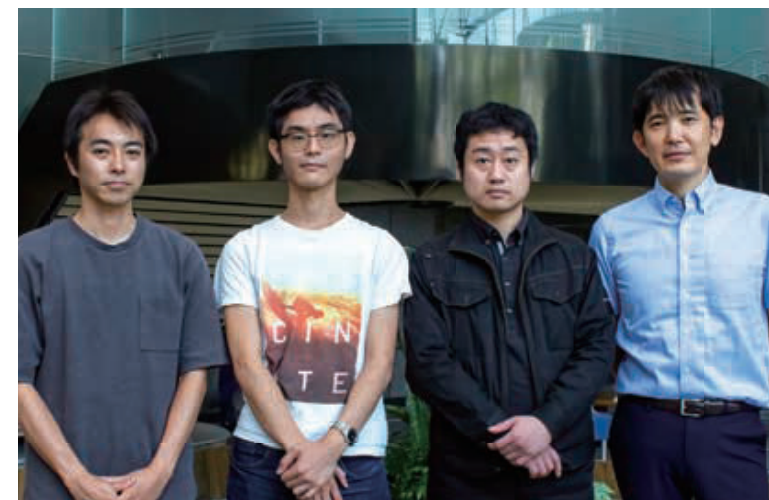
ソリューション

導入期間の短縮やインフラの安定稼働、柔軟なスケーラビリティの確保など、数多くのメリットを実現。

- ハードウェア: Dell EMC VxRail
 - Dell EMC ECS EX300
 - Dell EMC Network S4048 ON
- サポート: Dell EMC ProSupport Plus

導入効果

- 事前検証済みの構成を採用することで、導入期間を約3か月から約3週間に短縮
- 新規アプリケーション用の開発環境を約30分で用意することが可能に
- ITインフラを意識する事なく、クラウドネイティブアプリケーション開発への専念が可能に
- オンプレミスにもパブリッククラウドレベルの柔軟性を持つアプリケーション開発を実現
- 将来的なシステム増強およびクラウド展開に対してもスピーディな対応ができる環境を構築



株式会社日経統合システム ソリューション事業本部 DX 共創グループ 部長 鴨田 吉央 氏	株式会社日経統合システム ソリューション事業本部 DX 共創グループ 田中 保行 氏	株式会社日経統合システム ソリューション事業本部 DX 共創グループ 伊藤 清将 氏	株式会社日経統合システム ソリューション事業本部 DX 共創グループ プロダクトマネージャー 内山 永悟 氏
---	---	---	--

NAS 日経統合システム

株式会社日経統合システム

業種: ITサービス業

住所: 東京都江東区南砂 5-8-1 日経南砂別館

<https://www.nasnet.co.jp/>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/nasnet.htm#collapse>

アニメーション制作の拡大・進化をデル・テクノロジーズの総合力で支える

アニメーションのプロダクションとしてテレビ・劇場・配信用を中心に数多くの作品を手掛けるボンズでは、事業を支えるIT基盤のほぼすべてをデル・テクノロジーズ（以下、デル）の製品で構成している。2020年に実施したIT基盤の刷新でもデルのPC、ワークステーション、サーバーなどを新機種にリプレイスしたほか、ネットワーク環境もデルの製品を使って刷新し、基盤の性能とキャパシティを増強している。

課題

ボンズでは、アニメーション作成で使うPC・ワークステーションを含めて、自社のIT基盤をデルの製品で統一するという方針をとっている。そうしたなか、社内のPC・ワークステーションなどがリース切れの時期となり、かつ、撮影部のオフィスが新設のスペースに移転することになった。これにより、PC、ワークステーションを含めて、サーバー、ストレージ、スイッチなどのIT基盤を刷新することが必要になった。

ソリューション

最新機種の導入で処理性能の向上を、また、オール・デルテクノロジーズで揃えることでサポート面での運用管理の効率アップの実現を目指す。

- ハードウェア：
 - Dell Precision T3630
 - Dell OptiPlex 5070/3070
 - Dell Latitude 7400 2in1/3500
 - Dell EMC PowerEdge R640/R340
 - Dell EMC PowerSwitch
 - Dell EMC PowerVault ME4
- サービス、ソフトウェア：Dell EMC ProSupport Plus
iDRAC

導入効果

- 撮影用端末の性能が20～30%アップし、より豊かな映像表現の追求が可能に
- デルのPC・ワークステーションの豊富な選択肢で現場の多様な要求をカバー
- iDRACの効果でサーバー、ストレージ環境の運用管理性がアップ
- デル製品の堅牢性と高品質のサポートでPC・ワークステーションを含むIT基盤の高可用性を手間なく確保
- IT基盤全体をデルの製品・ソリューションで統一したことでサポート窓口を一つに集約、負担の少ない運用管理を実現
- デル製品の継続利用で運用管理のノウハウの継続活用が可能に



株式会社ボンズ

業種：映像情報制作・配給
住所：東京都杉並区井草3-8-3
<https://www.bones.co.jp/>

事例記事 URL：
<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/bones.htm>



金融 / 保險

巢鴨信用金庫



高い信頼性が求められる信金の業務システムを Dell Technologies製品がトータルにサポート

2010年に導入したシンククライアントシステムの更改時期を迎えた巣鴨信用金庫は、高パフォーマンスで高拡張性を実現するシステムに移行するためにPowerEdge サーバーをベースとしたシステムを構築した。

課題

利用ユーザーの増加によるパフォーマンスの低下が課題となっていた巣鴨信用金庫では、新たなシンククライアントシステムに対して、パフォーマンスの向上はもちろん、将来を見据えた拡張性も求められていた。

ソリューション

利用者増加によるパフォーマンス低下に課題があったシンククライアントシステムを高パフォーマンスで高拡張性を実現するシステムに移行。

- ハードウェア: Dell EMC PowerEdge 1U ラックマウントサーバー
 - Dell EMC SC シリーズ ストレージ
 - Dell EMC PowerVault NX シリーズ ストレージ
 - Dell EMC PowerSwitch S シリーズ
 - Dell Wyse シンククライアント
- サービス: ProSupport Plus

導入効果

- 朝夕のピーク時に発生していた画面遅延などを解消
- 拡張性の高いシステムに更改することによって、ユーザーが増加しても高いパフォーマンスを確保
- ストレスなく業務システムを扱えることによる情報共有・分析の推進
- 遅延やハード障害などのシンククライアントに関する問い合わせがなくなり、企画や開発に時間を割くことが可能に



巣鴨信用金庫

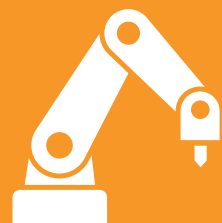
業種: 金融

住所: 東京都豊島区巣鴨 2-10-2

<https://www.sugamo.co.jp/>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/collaterals/unauth/customer-profiles-case-studies/solutions/jirei-sugamoshinkin.pdf>



製造業

川崎重工業株式会社

コベルコ建機株式会社

三洋化成工業株式会社

住商モンブラン株式会社

株式会社タツノ

株式会社チノ

ツネイシホールディングス株式会社

帝国繊維株式会社



新タイプのモバイルワークステーションでエンジニアの働き方をより快適に、 高効率に – 造船設計の端末をデル製品で統一

日本を代表する造船事業者である川崎重工業・船舶海洋カンパニーでは、製品設計に携わるエンジニアのワークステーション全台を、デルの薄型・軽量モバイルワークステーション「Dell Precision 5540」をはじめとするデル製品で統一した。これにより、エンジニアの機動力が大きく向上し、現場の働き方改革が勢いよく進み始めているという。

課題

川崎重工業・船舶海洋カンパニーで造船設計に携わるエンジニアは、他部門とのミーティングのために広い造船所内を動き回ることが多く、国内外の顧客の元に出張し、仕事をこなさなければならない場合もある。そうしたエンジニアの働き方をより高効率にするために、可搬性・処理性能・堅牢性・セキュリティなど、全てに優れたモバイルワークステーションが必要とされていた。

ソリューション

薄型・軽量・高性能・USB-C 対応のデルのモバイルワークステーションで 造船設計の端末を統一。

- ハードウェア: Dell Precision 5540 モバイル ワークステーション
Dell プロフェッショナルシリーズ P2720DC 27 インチワイド USB C モニター
- エンタープライズサポート: Dell ProSupport Plus

導入効果

- 薄型・軽量・高性能・USB C 対応のモバイルワークステーション、Dell Precision 5540の採用によって、船舶設計に携わるエンジニアの機動力が大幅にアップ。3D CADデータを使った造船設計・生産技術・製造の各部門の意思疎通がスピーディになったほか、高性能ワークステーションを携えてのエンジニアの出張が可能に。
- エンジニアが設計業務に使う端末とモバイルワークに使うノートパソコンを1台のDell Precision 5540に集約。全社的なパソコン導入台数を従来の2,500台から2,200台へと削減。
- 設計業務端末の故障率の大幅な減少と、導入作業（キッティング）の効率化、デルの高品質なサポートにより、保守・運用管理の手間が従来の2分の1以下に圧縮。
- Dell Precision 5540をハイスペックな構成にしたことで、造船 3D CAD の進化を見越した、5年後にも“現役”として使用可能なモバイルワークステーション調達を実現。



 **Kawasaki**
Powering your potential

川崎重工業株式会社

業種: 製造業

住所: 東京都港区海岸1丁目 14-5

<https://www.khi.co.jp/>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/kawasaki.htm>



建機操作のリモートワーク化の実現にデル・テクノロジーズの高性能ワークステーションをフル活用

神戸製鋼所のグループ企業で建設機械の生産・販売・サービスの事業を展開するコベルコ建機では、建機の遠隔操作などによって建設現場の働き方に革新のうねりを巻き起こすコンセプト「K-DIVE CONCEPT」の実現に向けて着々と歩を進めている。そのコンセプトの中核を成す遠隔操作システムの開発マシンとしてフルに活用されているのが、デル・テクノロジーズの高性能で堅牢なワークステーション「Dell Precision 5820 Tower」だ。

課題

コベルコ建機では2015年に建設現場の労働力不足を解消するDX（デジタルトランスフォーメーション）のコンセプト「K-DIVE CONCEPT」を打ち出し、研究開発を進めてきた。同コンセプトの最初のステップにあたるローカル無線通信環境における建機の“近距離”遠隔操作の実現に向けてシステムの開発と建設現場でのテストを行うに当たり、高性能で信頼性が高く、堅牢なワークステーションを求めた。

ソリューション

性能と頑丈さ、サポート品質に優れたデル・テクノロジーズのワークステーションを導入

- Dell Precision 5820 Towerワークステーション

導入効果

- Dell Precision 5820 Towerワークステーションは筐体のケースや排熱処理の完成度が高く、安定性が他社製品とは段違い。真夏の建設現場でフル稼働させ続けても障害を起こさず、建機の遠隔操作試験を強力にバックアップ。
- マシンスペックの柔軟性の高さでデル・テクノロジーズの親身のサポートから、システム要件に適した構成のワークステーションが選択可能に。
- デル・テクノロジーズが部品交換による導入機の性能向上や障害時の部分修理などに対応したことで、開発コストの適正化を実現。
- 建機の遠隔操作を支えるワークステーションにはリアルタイムのデータ処理能力の高さと安定稼働、さらには持ち運びや設置場所の自由度の高いコンパクト設計が必須とされたが、Dell Precision 5820 Towerワークステーションはいずれの要件も満たし、システムの実用化に向けたプロセスが滞りなく進展。



KOBELCO コベルコ建機

コベルコ建機株式会社

業種：製造

住所：広島県広島市佐伯区五日市港2丁目2番1号

<https://www.kobelco-kenki.co.jp/>

事例記事 URL：

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/kobelco-kenki.htm>



デルのディスプレイスタンド内蔵超小型PCで働き方改革に資する理想的なデスクトップ環境を実現

パフォーマンス・ケミカス（機能化学品）の製造・販売を手がける三洋化成工業では、2002年から社内PCをデル製品で統一し、業務効率を高いレベルで維持できる環境づくりに役立ててきた。2020年からは、デスクトップの標準機を新タイプのPC「Dell OptiPlex 7070 Ultra」へと切り替え、働く環境のさらなる改革を推し進めている。

課題

社内PCの標準機をデルで統一している三洋化成工業では、机上のワークスペースを広くとり、働きやすさを増すことを目的に、デスクトップ機についてモニター一体型のオールインワンデスクトップの導入・活用を進めていた。ただし、オールインワンデスクトップは、キティングに手間がかかるほか、PC本体のリプレースと併せて、まだ現役として十分使用できるモニター部分までをリプレースしなければならないといった問題があった。そうした中で社内400台のデスクトップPCがリプレースのタイミングを迎え、オールインワンデスクトップの利点と、通常のデスクトップPCの利点とを兼ね備えた新たなPCの導入が急務となった。

ソリューション

デスクトップの省スペース化とITの効率性を追求し、完全モジュラー型ゼロフットプリントデスクトップを採用。

- ハードウェア: Dell OptiPlex 7070 Ultra 完全モジュラー型 ゼロフットプリント デスクトップ
Dell プロフェ ッショナルシリーズ P2419HC 23.8 インチワイド USB - C モニター
- サポート: Dell ProSupport

導入効果

- Dell OptiPlex 7070 Ultraは、専用のモニタースタンドに収納するタイプのPC。その採用によってPC本体の設置スペース（フットプリント）を実質“ゼロ”に
- 可搬性の高い Dell OptiPlex 7070 Ultra により、人の席移動に柔軟に対応できるデスクトップ環境を実現
- Dell P2419HCによるデジーチェーン接続により、マルチモニター環境の実現を簡素化
- オールインワンデスクトップに比べてキティング作業の労務負担が大幅に低減。オールインワンデスクトップのように、PC本体のリプレースに伴い、まだ現役として使えるモニター部分までをリプレースしなければならない無駄も一掃



三洋化成工業株式会社

業種: 化学

住所: 京都府 京都市東山区一橋野本町 11-1

<https://www.sanyo-chemical.co.jp/>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/collaterals/unauth/customer-profiles-case-studies/solutions/dell-jirei-sanyochemical.pdf>



VMware Workspace ONEと連携するデル・テクノロジーズのモダン・プロビジョニングでPC導入の工数とコストを大幅に低減

飲食・医療業界向けサービスユニフォームのメーカーである住商モンブランでは、更改のタイミングを迎えた社内の事務用PCをデル・テクノロジーズのWindows 10 PCにリプレースすると併せて、「VMware Workspace ONE®」を使ったクラウドベースのモダン・プロビジョニングを実現するデプロイメントサービス「Dell Provisioning」の活用を踏み切った。これにより、PCの導入に要するキッティング工数とコストを大幅に削減することに成功している。

課題

住商モンブランでは、PC導入の際に情報システム部門であるIT企画課が、OSの設定やアプリケーションのインストール／設定などを一手に担ってきたが、従業員数が増える中で、それも限界に近づいていた。そうした中で、社内事務用のPCが更改のタイミングとなり、新たなPCの導入と併せて、その導入・設置に伴うIT企画課の労務負担を大きく低減させられるソリューションが必要とされた。

ソリューション

システム担当者の負担が軽くなるだけでなく、エンドユーザーが手元に届いた新しいPCですぐに業務が開始できるというメリットがあるDell Provisioningを採用。

- ハードウェア: Dell OptiPlex
Dell プロフェッショナルシリーズ P2419HC 23.8 インチワイド USB - C モニター
- サービス: Dell Provisioning (Dell ProDeploy Client Suite)

導入効果

- 工場とクラウドのVMware Workspacce ONEを活用するDell Provisioningにより、キッティングセンター作業や、システム管理者の手動によるキッティング作業を不要に。
- Dell ProDeploy Client Suiteの採用により、PC導入・設置に要する工数の9割が削減。
- デル・テクノロジーズのエンジニアによるPCのオンサイト設置と設定／旧PCからのデータ移行により、システム担当者がいない拠点でも、PCの確実な導入とデータ移行を実現。
- PCのセットアップ・デバイス管理の開始状況を、VMware Workspace ONEからシームレスに一括して確認・管理することが可能に。



住商モンブラン株式会社

住商モンブラン株式会社

業種: 製造業

住所: 大阪府大阪市中央区北浜4丁目7番28号

<http://scmb.montblanc-web.jp/>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/sumisho-montblanc.htm>



社内PC全台を「Dell Latitude」に一本化、 業務ITインフラのすべてをデル製品で統一も視野に

ガソリン計量機のトップメーカー、タツノは、社内ITインフラのほぼすべてをデル製品で固めつつある。2019年のPC更改では約1,300台の社内PC全台を「Dell Latitude 7390」ノートPCで一本化し、働き方改革とIT運用管理の効率化に活かしている。

課題

タツノでは、かねてから社内PCをデル製品で一本化し、業務に活かしてきた。ただし、従来はデスクトップPCとノートPCが混在した状態にあり、運用管理の効率化という点では改善の余地が残されていた。また、働き方改革の一環として、本社・拠点でのWi-Fi環境の整備やフリーアドレス化を進める中で、デスクトップPCの利便性の低さも際立つようになっていた。そこで、2019年のPC更改のタイミングに合わせて1,270台に上る社内PC全台を単一機種のノートPCで統一する決断を下し、PCに対する従業員の多様なニーズを満たすノートPCの導入と利用環境の整備を急いだ。

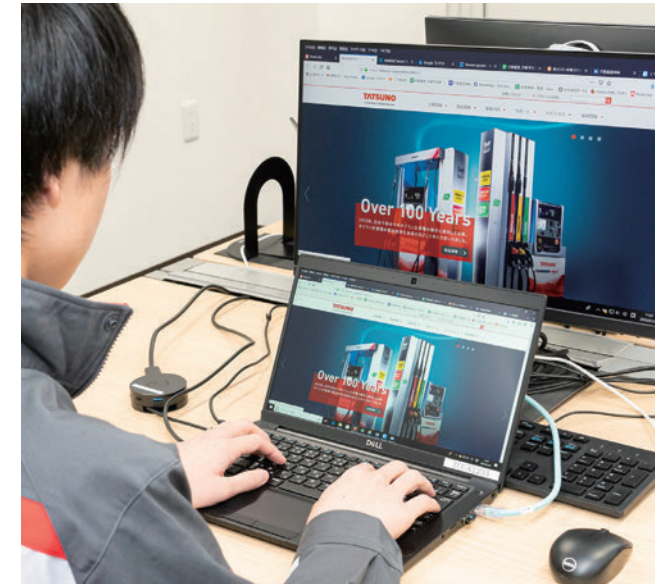
ソリューション

ハイスペック・軽量・壊れにくさで「Dell Latitude 7390」を選ぶ。
DA300で外付けモニタ接続アダプタを一つに集約。

- ハードウェア: Dell Latitude 7390
Dell USB C モバイルアダプタ DA300
- サポート: Dell ProSupport
Dell - Custom Factory Integration

導入効果

- 高性能で携帯性と耐久性に優れた「Dell Latitude 7390」が、従業員の多様な働き方にフィット。現場の生産性の維持・向上に資するかたちでのPC機種統一を実現
- Dell Latitude 7390により、向こう5年間は現場の業務要件に対応しうるPC環境を実現
- 社内PCの完全機種統一でIT運用管理の効率性がアップ
- 幅広いポートオプションを備えるモバイルUSB-C アダプタ「DA300」の採用によって、多様な外付けモニタとノートPCとの接続を単一のアダプタに集約。アダプタ保持・管理の手間を大幅に低減



TATSUNO

株式会社タツノ

業種: 製造業

住所: 東京都港区三田三丁目2番6号

<https://tatsuno-corporation.com/jp/>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/collaterals/unauth/customer-profiles-case-studies/solutions/dell-jirei-tatsuno.pdf>



業務改革のIT基盤としてデル製品を全面採用。 2-in-1のノートパソコンで営業担当者の機動力と業務効率を大幅アップ

計測・制御・監視機器の製造・販売で80年以上の歴史を誇るチノーでは、Windows 10への移行に伴うIT基盤の全面刷新において、業務用のパソコンとワークステーションをデル製品で一本化した。営業担当者用の端末には 2-in-1タイプの「Dell XPS 13」を採用し、セールス活動の機動力と生産性をともに向上させ、IT投資を戦略投資へと転換させている。

課題

Windows 10への移行を機にIT基盤の全面的な刷新に着手したチノーでは、それまで部門ごとにバラバラに導入してきたパソコン、ワークステーションの調達方式を改め、単一メーカーの製品で全社のパソコン、ワークステーションを標準化し、統一することにした。それに伴い、コストパフォーマンスに優れ、かつ、情報システム部門の方針である業務改革に資する製品を選び抜くことが必要になった。

ソリューション

業務改革の推進力となりうるパソコン/ワークステーションの選定を行い、結果として、**社内の全パソコン/ワークステーションをデルの製品で一本化。**

- ハードウェア: Dell OptiPlex 3060 Micro/3070 Micro
- Dell Latitude 3590/3500
- Dell XPS 13 2-in-1 9365
- Dell Latitude 5300 2-in-1
- Dell Precision 3630/7820
- Dell プロフェッショナルシリーズ P2419H 23.8 インチ ワイドモニター
- Dell Business Dock WD15
- Dell USB-C モバイルアダプタ DA300

導入効果

- 社内のパソコン/ワークステーションをデル製品で統一したことで、業務端末の性能が従来比で10倍に向上。
- 「Dell XPS 13 2-in-1」の採用により、営業担当者の社内用デスクトップと外出用ノートパソコン/タブレットを1台に集約。
- Dell XPS 13 2-in-1などと併せてWD15/DA300を導入したことで、営業担当者や管理職者の機動力がアップし、コミュニケーションが活性化。
- Dell XPS 13 2-in-1の利便性と性能の高さから、2-in-1 ノートパソコンが営業担当、管理職、経営陣の「働き方改革」に欠かせない基盤に。
- ディスクの暗号化、生体認証などをサポートしたDell XPS 13 2-in-1により、モバイルワークでのセキュリティレベルが向上。



CHINO

株式会社チノー

業種 : 製造業

住所 : 東京都板橋区熊野町 32-8

<https://www.chino.co.jp/>

事例記事 URL :

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/chino.htm>



グループの事業活動を支える仮想化基盤をDell EMC VxRailで 全面再構築、インフラ環境のさらなる最適化に成功

祖業である海運、造船業をはじめとして、エネルギー、環境、ライフ&リゾートなど幅広い領域でビジネスを展開する常石グループの司令塔役を担う持株会社であるツネイシホールディングス。「Dell EMC VxRail」を導入し、グループ仮想化基盤の再構築に着手しました。グループ各社間の連携を強化することで、事業の成長をバックアップしています。

課題

グループ企業の事業活動を支える仮想化基盤を刷新し、インフラ環境の最適化やコスト削減をさらに推し進めていくこと。

ソリューション

グループ情報インフラの最適化を目指す取り組みに、大きく貢献。

- ハードウェア : Dell EMC VxRail E560/S570

導入効果

- Dell EMC VxRailによる新仮想化基盤を構築し、ラックスペースを約1/3に削減。性能・信頼性向上や運用管理の効率化も同時に実現。
- Dell EMCの保守サービスにより、VMware や関連ソフトウェアのバージョンアップ、パッチ適用をリモートで実施。大幅な運用業務効率化を実現。
- システムをHCIに集約することで、CPUコアライセンスのソフトウェア費用を削減。



ツネイシホールディングス株式会社
情報戦略部
情報システムグループ
担当課長
南 勲 氏

ツネイシホールディングス株式会社
情報戦略部
情報システムグループ
近藤 淳 氏

ツネイシホールディングス株式会社
情報戦略部
情報システムグループ
魚谷 友規 氏



TSUNEISHI
GROUP

ツネイシホールディングス株式会社

業種 : 製造業 / サービス業

住所 : 広島県福山市沼隈町常石 996-1

<https://www.tsuneishi-hd.com/>

事例記事 URL :

[https://www.delltechnologies.com/ja-jp/](https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/tsuneishi.htm)

[case-studies-customer-stories/tsuneishi.htm](https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/tsuneishi.htm)



部署間の情報共有を容易にできるコミュニケーションツールで、多様な働き方に対応する社内インフラの整備を目指す。

帝国繊維株式会社では、日本マイクロソフトが提供する『リモートワークスタープラン』を導入し、社内のコミュニケーションツールとして活用することで、品質・サービスの向上に取り組んでいる。柔軟な働き方に対応できるようインフラを整備し、社内への浸透を実現するべく運用を始めている。

課題

- 部署間の情報共有を活発にし、顧客の声を横展開したい
- 業務スタイル変革を簡単にやりたい
- 従業員の様々な働き方を支えたい

ソリューション

部署間を横断した情報共有の実現に向けてツールを活用

- ソフトウェア: リモートワークスタープラン

導入効果

- 部署間を横断したコミュニケーションをチャット機能で容易に実現
- コンパクトなパッケージプランで、業務スタイル変革のスムーズスタートが可能
- Teams会議による生産性の向上、移動コスト等の削減
- 従業員の様々な働き方に柔軟に対応できる環境整備



帝国繊維株式会社
経営企画部 企画・人事グループ課長代理
鈴木 優一 氏



帝国繊維株式会社

帝国繊維株式会社

業種 : 製造

住所 : 東京都中央区日本橋二丁目5番1号

<http://www.teisen.co.jp/>

事例記事 URL :

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/teisen.htm#collapse>



通信 / 情報 / サービス / コンサル

アライドテレシス株式会社

株式会社NTTドコモ

株式会社オロ

株式会社日本海洋科学

三菱電機エンジニアリング株式会社

株式会社マトリックス

株式会社ミライト情報システム



社内業務システムを集約する新規仮想基盤にDell EMC VxRailを採用 課題解決と同時に自社導入、運用経験のSI事業への展開にも成功

1987年ネットワーク機器の研究開発事業を原点に日本発のネットワーク専門メーカーとしてスタートしたアライドテレス株式会社は、「世の中の安全をネットワークから創る」を掲げ、世界中の人々へ向け、最適なネットワークインフラ環境の実現に取り組んでいる。その取り組みはネットワークのみならず、現在ではITインフラ全体へと広がっている。

課題

ネットワーク機器メーカー、インテグレーターとして、高い評価と豊富な経験を誇るアライドテレス株式会社は、2014年からサーバー基盤を含めたITシステムへとそのビジネス領域を広げている。顧客の期待値が“ITシステム全体の最適化”に変化していく昨今、ネットワークで培った技術を活かし、セキュリティ・クラウド環境も含めた最適なSIサービスを提供する“統合インフラインテグレーション事業”の一層の強化により更なるビジネス拡大を目指す。そのような背景の中で迎えた今回の自社基盤リプレースでは、自社はもちろん、“自社の先にいるお客様にととの価値提供”も重視した基盤選定を行った。

ソリューション

業務システムを集約する新しい基盤にVxRailを導入し様々な課題を解決

- Dell EMC VxRail E560F
- Dell ProDeploy Plus
- Dell ProSupport Plus

導入効果

- 運用側と開発部門側、物理と仮想の混在で管理が分散した業務システムを集約
- データセンターのラック本数を従来の約1/3にまで削減
- 過去の経験則から想定した構築期間の1/6で基盤構築が完了しプロジェクト遅延を回避
- 従来からの「慣れ親しんだツール」でハードウェアを含めた基盤全体の運用管理を実現
- メーカーが保守メニューとして提供する「遠隔監視サービス」による安全性の追求



アライドテレス株式会社
サポート&サービス事業本部
上級執行役員本部長
福川原 朋広 氏

アライドテレス株式会社
サポート&サービス事業本部 IT DevOps 本部
IT as Service部 IT DevOps グループ 課長
鈴木 義一 氏



アライドテレス株式会社

業種：IT (情報技術)

住所：東京都品川区西五反田7-21-11 第2TOCビル

<https://www.allied-telesis.co.jp/>

事例記事 URL：

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/allied-telesis.htm#collapse>



5G時代を見据えたクラウド基盤をVMware Cloud Foundation on VxRailで構築 オペレーションの「ゼロタッチ」化を推進

大手移動体通信事業者のNTTドコモでは、「ドコモオープンイノベーションクラウド®」などのサービスを支える新たなクラウド基盤を構築した。その中核には「VMware Cloud Foundation on VxRail」を採用し、高い性能・信頼性と柔軟なスケラビリティを確保。また、同社が進める運用管理の「ゼロタッチオペレーション」化にも活用していく考えだ。

課題

日本を代表する移動体通信キャリアとして、多彩なICTサービスを展開するNTTドコモ。2020年5月には、5G時代を見据えた新サービス「ドコモオープンイノベーションクラウド®」の提供も開始している。ただし、ここで課題となったのが、そのサービス基盤をいかにして実現するかという点だ。サービスインまでの期間は限られており、従来型の構築手法で対応するのは困難が予想された。また、これと同時に、社内で稼働する様々なサービス基盤を統合し、より柔軟で俊敏なインフラを作り上げることも大きな課題となっていた。そこで同社では、今後のビジネスを支える新たなクラウド基盤の導入に着手した。

ソリューション

ドコモオープンイノベーションクラウド® をはじめとするサービスを迅速に展開できるクラウド基盤を確立

- ハードウェア: Dell EMC VxRail
- サポート: Dell ProSupport Plus

導入効果

- 5G時代の新たなビジネスを担うクラウド基盤を確立
- 優れた運用管理性により運用のゼロタッチオペレーションの実現が視野に
- 機器納入からサービスインまでの期間を1/2以下に短縮
- Secure Remote Supportの活用で迅速な障害対応を実現



株式会社NTTドコモ サービスデザイン部 システム担当 山際 正信 氏	株式会社NTTドコモ サービスデザイン部 システム担当 飯島 佳奈 氏	株式会社NTTドコモ サービスデザイン部 システム担当 山田 古都子 氏	株式会社NTTドコモ サービスデザイン部 基盤方式 担当部長 飯田 和則 氏	株式会社NTTドコモ サービスデザイン部 システム担当 担当課長 川崎 聖也 氏
--	--	---	--	--



株式会社NTTドコモ

業種: 通信業

住所: 東京都千代田区永田町 2 丁目 11 番 1 号 山王パークタワー
<https://www.nttdocomo.co.jp/>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/nttdocomo.htm>



クラウドERP「ZAC」「ZAC Enterprise」「Reforma PSA」のサービス基盤に Dell EMC VxRailを採用。運用負荷軽減とスケーラビリティ強化に成功

クラウドソリューション事業、並びにデジタルトランスフォーメーション事業を展開する株式会社オロでは、同社が提供するクラウド ERPのサービス基盤に「Dell EMC VxRail」を採用した。これにより、ファームウェア/ハイパーバイザー等のアップデート作業を大幅に効率化することに成功。また、ビジネスの成長に連動してインフラを拡張できる柔軟なスケーラビリティも確保している。

課題

株式会社オロでは、案件・プロジェクト型のビジネスに特化したクラウドERP「ZAC」「ZAC Enterprise」「Reforma PSA」を展開している。ビジネスの成長に伴って、そのサービス基盤に用いられるサーバー/ストレージの台数も年々増加。その結果、ファームウェアやハイパーバイザー等のアップデート作業にも多くの時間と工数を取られるようになっていた。より付加価値の高いサービスを創り上げていくためには、こうした運用管理にまつわる負担をできるだけ軽減する必要がある。そこで同社では、よりシンプルで柔軟なサービス基盤を実現すべく、新たなインフラ製品の導入に取り掛かった。

ソリューション

商用サービス基盤の運用負荷軽減とスケーラビリティ強化を実現

- ハードウェア: Dell EMC VxRail P570F
- サポート: Dell ProSupport Plus

導入効果

- インフラ増設に要する作業工数を従来の約1/10に削減
- アプリケーションのバックアップ時間を3時間から50分へと1/3以下に削減
- ファームウェア/ハイパーバイザーのアップデート作業を大幅に効率化
- 今後のサービスの成長にも即応できるスケーラブルな環境を実現



株式会社オロ
クラウドソリューション事業部
製品開発グループ
インフラエンジニア
堤 達郎 氏

株式会社オロ
クラウドソリューション事業部
製品開発グループ
チーフインフラエンジニア
小林 樹津生 氏

株式会社オロ
クラウドソリューション事業部
製品開発グループ
シニアインフラエンジニア
西端 敏裕 氏



株式会社オロ

業種: 情報サービス業

住所: 東京都目黒区目黒3-9-1 目黒須田ビル

<https://www.oro.com/ja/>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/oro.htm#collapse>



防爆対応の「Latitude Rugged」タブレットでタンカー、LNG船、タグボートへの操船支援システムの普及を推進

日本海洋科学では、操船支援や本船監視を行うシステム「i.Master」の端末としてデル・テクノロジーの「Latitude 12 Rugged」タブレットを採用。タンカーや LNG 船、タグボート、棧橋など、高いレベルの防塩・防水・防塵・防爆性が要求される環境での「i.Master」の普及を促進している。

課題

本船運航サポートや水先人（水先案内人）の着離棧操船支援システムとしてi.Master を提供している日本海洋科学では、タンカーや LNG 船、タグボートなどでの i.Master の利用を可能にするために防爆性を備えたタブレットを端末として採用する必要があった。

ソリューション

防塩・防水・防塵・防爆性に耐える超堅牢タブレットPCを導入

- ハードウェア: Latitude 12 Rugged タブレット
- サポート: Dell ProSupport

導入効果

- Latitude 12 Ruggedタブレットの採用で、タンカーやLNG船、タグボート、棧橋など、防爆性が要求される環境での i.Master の普及を促進
- ホットスワップに対応した2台のバッテリーを搭載し、10時間以上の連続稼働を実現するLatitude 12 Rugged タブレットにより、作業中の停止が許されない操船支援業務の持続性を担保
- 日差しが強い屋外でも高い視認性を実現するLatitude 12 Rugged タブレットのディスプレイによって、海上・港湾における水先案内業務のスムーズな遂行をサポート



株式会社 日本海洋科学
Japan Marine Science Inc.

株式会社日本海洋科学

業種: コンサルティング

住所: 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア西館 3階

<https://www.jms-inc.jp/>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/jms-latitude-rugged-tablet.htm#collapse>



「AI配筋検査システム」にデル・テクノロジーズの「Latitude 7220 Rugged Extreme」タブレットPCを採用

三菱電機と三菱電機エンジニアリングは、建設中のコンクリート構造物における鉄筋配置検査を大きく効率化する「AI配筋検査システム」を開発、その端末にデル・テクノロジーズの「Latitude Rugged」タブレットPCを採用した。同製品の圧倒的な耐久性と処理性能の高さ、そして使いやすさはAI配筋検査システムの普及に弾みをつけている。

課題

コンクリート建造物の鉄筋配置の検査を効率化する「AI配筋検査システム」の製品化に当たり、システム端末として建設現場における屋外の使用に耐えうる堅牢性と高いデータ処理性能、強い日差しの下でも見えやすいディスプレイ、さらにはモビリティのすべてを備えたタブレットPCが必要とされた。

堅牢性と高性能を両立できるタブレットPCを導入

- ハードウェア:「Latitude 7220 Rugged Extreme」タブレットPC

導入効果

- 耐久性・信頼性に優れたRuggedタブレットの採用により、高可用性を備えたAI配筋検査システムを実現
- 配筋検査の作業をストレスなく進められる処理性能の高い「AI配筋検査端末」を実現
- 強い日差しの下でも操作がしやすいRuggedタブレットのディスプレイによってAI配筋検査システムの使い勝手と生産性を向上
- 2つのバッテリーを本体背面に装着できるRuggedタブレットによって配筋検査中にバッテリーが切れ、作業がストップしてしまうリスクを大幅に低減させることが可能に
- 耐久性・処理性能・使い勝手のすべてに優れるRuggedタブレットの採用によって配筋検査に要する時間の約60%削減が可能に



三菱電機エンジニアリング株式会社

三菱電機エンジニアリング株式会社

業種: 専門的技術サービス業

住所: 東京都千代田区九段北1-13-5 ヒューリック九段ビル

<http://www.mee.co.jp/>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/mee.htm#collapse>



楽しくさせるコンテンツをつくり、制作者自身も楽しくなるために。

株式会社マトリックスでは、エンドユーザーをより「喜ばせる、楽しませる、びっくりさせる」ことができるようなコンテンツ提供を目指している。社内外のコミュニケーションを強化する事で業務効率をより向上させ、開発にもっと良いアイデアを取り込むためのゆとりを生み出すべく日本マイクロソフトが提供する“リモートワーク スターター プラン”でのインフラ整備を進めており、社内への浸透を実現するべく運用を始めている。

課題

- パートナーの要望に柔軟に応えたい
- 利便性と信頼性を担保したうえで、コストを抑えたい

ソリューション

Teamsの守備範囲とセキュリティ面での信頼性

- ソフトウェア: リモートワーク スターター プラン

導入効果

- Web 会議やファイル共有における、高いセキュリティによるアクセス制御
- ツールの一元化を可能にする、多様なアプリとの連携による拡張性



株式会社マトリックス
管理部システム課 課長
瀬尾 文彦 氏

株式会社マトリックス
代表取締役
大堀 康祐 氏



株式会社マトリックス

業種: ソフトウェア開発

住所: 東京都新宿区歌舞伎町2-44-1 ハイジア13F

<https://www.matrixsoft.co.jp/>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/>

[case-studies-customer-stories/matrix.htm#collapse](https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/matrix.htm#collapse)



「Dell Wyse」の全社導入で社内ITの保守・運用管理工数を7割削減

ミライト・テクノロジーグループの一員として、システム開発・販売・保守やITインフラ構築などの事業を手掛けるミライト情報システム。同社では社内のクライアント端末全台をPCからデル・テクノロジーの「Dell Wyse シンクライアント」へと切り替え、社内ITの運用管理工数を劇的に低減させている。

課題

ミライト・テクノロジーグループでは、グループ各社の社内ITインフラが共通化され、一元管理されているが、クライアント端末の選定・導入、そして日々の運用管理についてはグループ各社が個別に行う必要がある。その体制下、社内情報システム部門を持たないミライト情報システムでは、クライアント端末の運用管理負担を最小化することがかねてからの課題だった。

ソリューション

クライアントもサーバーも管理効率がよく運用負荷の低いデル・テクノロジー製品を導入

- ハードウェア：
Dell Wyse シンクライアント
Dell EMC PowerEdgeサーバー
- エンタープライズサポート：シンクライアント OS：Dell Wyse ThinOS
シンクライアント管理：Wyse Management Suite

導入効果

- 社内IT全体の運用管理工数が約7割削減
- クライアント端末の運用管理工数はほぼゼロに
- 約3年間でクライアント端末の故障発生がゼロ件
- シンクライアントOS「Dell Wyse ThinOS」の採用により、クライアント端末のセキュリティ管理工数がほぼゼロに
- クライアント端末に起因するセキュリティインシデント発生は3年間でゼロ件
- 将来的な仮想デスクトップ基盤（VDI）導入への道筋を確保



株式会社ミライト情報システム

業種：情報通信サービス

住所：東京都品川区荏原 1-20-10

<https://www.miraitsystems.jp/index.html>

事例記事 URL：

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/miraitsystems.htm>



運輸 / 物流

株式会社フリゴ



マイナス25℃でも安定稼働のデル・テクノロジーズの「Rugged」タブレットPCで冷凍倉庫の高効率な現場作業を支える

冷凍・冷蔵食品の物流倉庫を運営するフリゴでは、室温マイナス25℃以下の冷凍倉庫でも安定して動作するデル・テクノロジーズの「Latitude 12 Ruggedタブレット」を2018年から使い続け、効率的な現場業務を支えている。

課題

フリゴでは2017年、冷凍・冷蔵食品を扱う物流倉庫（冷凍倉庫）での業務効率を高めるべく、タブレットPCによるピッキング／検品業務のペーパーレス化に乗り出した。それに際して、室温マイナス25℃以下という過酷な環境の冷凍倉庫内でも安定動作を続け、かつ適正価格のタブレットPCを探し当て、導入することが大きな課題となった。

ソリューション

冷凍倉庫内でも信頼できる堅牢タブレットPCを導入

- Latitude 12 Ruggedタブレット

導入効果

- 室温マイナス25℃以下の冷凍倉庫内でも安定動作を続ける Rugged タブレットにより、現場業務の効率化を実現
- 2018年からの約3年間、23台のRuggedタブレットの使用を通じて機器故障・破損ゼロ件を達成
- Rugged タブレットのフル HD 画面によって紙伝票と同等の情報量をタブレット上に表示させ、ペーパーレスでのピッキング／検品業務を効率化
- 検品・ピッキングに加えて始業前の設備点検や倉庫内・事務所内の環境チェックの効率化にもRugged タブレットを活用
- ピッキング／検品、始業前設備点検、環境チェックのペーパーレス化によって作業員一人当たりの作業時間が1日約1時間削減



株式会社フリゴ

業種：物流

住所：大阪市此花区北港白津 1-7-11

<https://www.frigo.co.jp/>

事例記事 URL：

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/frigo.htm#collapse>



食品 / 飲料

あづま食品株式会社



納豆一筋を、未来まで支えるシステム化の一步。

あづま食品株式会社では、より安全で安心な商品を、エンドユーザーに届けるということを目指している。社内コミュニケーションのシステム化を進めることで業務効率を向上し社内会議などでの省力化を促進するため、日本マイクロソフトが提供する“リモートワーク スタータープラン”でのインフラ整備を進めており、全社員での活用を目指し運用を始めている。

課題

- 会議内容の共有を簡潔に行いたい
- 会議資料や議事録作成の手間を軽減したい
- 余分な作業や時間を削減したい

ソリューション

オンライン化により、風通しが良くなるツールを活用

- ソフトウェア: リモートワーク スターター プラン

導入効果

- Web会議機能を活用した全社会議のオンライン化により、情報共有の円滑化
- 共同編集機能による会議資料のリアルタイム共有で、資料作成と共有の負担を軽減
- 社内インフラのシステム化への一歩が進み、全社での業務効率向上が前進



あづま食品株式会社 管理部 業務システム課
吉原 聡 氏



あづま食品株式会社

あづま食品株式会社

業種: 食料 飲料

住所: 栃木県宇都宮市下田原町3480-2

<https://www.adumas.co.jp/>

事例記事 URL:

<https://www.delltechnologies.com/ja-jp/case-studies-customer-stories/azuma.htm#collapse>



デル・テクノロジーズ株式会社

〒100-8159 東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー17階

お問い合わせ: japan.marketing.inquiry@dell.com (マーケティング統括本部)

お客様導入事例一覧: <https://www.delltechnologies.com/ja-jp/customer-stories.htm>